

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年11月25日

計画の名称	桐生市における元気で活力あるまちづくりのための下水道整備（重点計画）											
計画の期間	令和０３年度 ～ 令和０４年度（2年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	桐生市											
計画の目標	市民が快適に暮らせるよう下水道普及率を向上させて生活環境の改善を推進するとともに、公共用水域への汚濁負荷量削減を図り河川等の水質改善に寄与する。											
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		286	A	286	B	0	C	0	D	0
										効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R 3 当初		R4末
1	下水道処理人口普及率を 8 3 . 6 % (R3) から 8 3 . 9 % (R4) に向上させる。			
	下水道処理人口普及率 = 下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）	84%	%	84%
2	汚水処理人口普及率を 9 3 . 1 % (R3) から 9 3 . 2 % (R4) に向上させる。			
	汚水処理人口普及率 = 汚水処理施設を利用できる人口（人） / 総人口（人）	93%	%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	桐生市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	桐生処理区（ A 1 - 1 ）	φ 2 0 0 mm L=1,785m	桐生市	■	■				250		-
	A07-002	下水道	一般	桐生市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	境野処理区（ A 1 - 2 ）	φ 2 0 0 mm L=40m	桐生市	■	■				10		-
	A07-003	下水道	一般	桐生市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	境野処理区（ A 1 - 3 ）	計画策定及び検討に係る資料 分析等	桐生市		■				26		-
											小計						286		
											合計						286		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標値は、下水道処理人口普及率及び汚水処理人口普及率であり、客観的に算定される数値であることから、桐生市により達成状況を検証し評価を行った。	令和6年10月
	公表の方法 桐生市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水処理人口普及率が令和3年度当初現況値93.1%から令和4年度末最終実績値93.6%に向上したことにより、公衆衛生の向上と公共水域の水質保全に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
令和9年度に下水道処理人口普及率85%及び汚水処理人口普及率96%以上を達成することを目標として整備促進していく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	84%	人口減少の影響により既整備区域の人口が減少しており、整備の進捗は計画通りに進んだものの、目標値を下回ることとなった。今後は、令和9年度に下水道処理人口普及率85%以上を達成することを目標として整備促進していく。
	最 終 実績値	82%	
2			
	最 終 目標値	93%	
	最 終 実績値	93%	